

2023年9月28日

NEWS RELEASE

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

フルフロントオペレーションを実現した在宅向けインクジェットプリンター2機種を発売
操作性・高画質・高生産性を備えオフィスと同等の効率的な働き方をサポート

キヤノンは、オフィスと同等の効率的な働き方を支援する在宅勤務に特化した新概念プリンターとして、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載した、ファクス機能付きインクジェット複合機「GX2030」とインクジェット複合機「GX1030」を2023年10月下旬より順次発売します。



GX2030



居住空間になじむ新デザイン



フルフロントオペレーションを実現

コロナ禍を経て、在宅勤務は急場をしのぐ働き方から、働き方の選択肢の一つへと変化し、自宅での業務にもオフィスと同等の生産性が求められています。新製品は、手間取らない操作性、ビジネスに欠かせない高い印字品位、大量印刷や高速プリントに耐え得る高い生産性を備え、効率的な業務の実現に貢献します。

■ 新デザインとフルフロントオペレーションで操作性が向上

自宅の居住空間と調和する新デザインを採用し、スキャンユニットを小型化したことで、限られたスペースでも設置場所を選ばないコンパクトサイズを実現しています。操作部をプリンター前面のフラットパネル上にまとめたほか、インク充填・給紙・メンテナンスカートリッジ（別売り）の交換といったプリンターの基本操作をすべて前面側で行えるフルフロントオペレーションを可能にしています。さらに、インク注入口に新機構のレバーを採用し、インクの注入を容易にするなど、使い勝手を向上しています。

■ 新開発の顔料インクと画像処理技術でにじみの少ない高画質を実現

インクの浸透特性をコントロールする新開発の顔料インクと、インク滴のサイズを小さくしインク滴同士の重なりを抑える新画像処理技術により、濃くくっきりした文字とにじみの少ないシャープな画質の両立を実現します。全色顔料インクを採用することで、小さな文字や両面印刷の文書でも鮮明で裏写りが少ない高品位な印刷が可能です。また、印字部にマーカーを引いてもにじみにくい^{※1}ため、書き込むことの多いビジネス文書の印刷に適しています。

■ 高速プリントと低ランニングコストによりオフィスと同等の高い生産性を支援

連続プリント（片面）はA4モノクロ文書毎分約15.0枚^{※2}、A4カラー文書毎分約10.0枚^{※2}、ファーストプリントはA4モノクロ文書約9秒^{※3}、A4カラー文書約11秒^{※3}と、モノクロ・カラーともに高速プリントを実現しています。また、「GIGA TANK」の搭載により、A4モノクロ文書1ページあたり約0.9円^{※4}、A4カラー文書1ページあたり約3.0円^{※4}と印刷コストを抑えつつ、ブラックインクボトルとカラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー）ともに、1本分の容量でA4約4,500ページ^{※5}の大量印刷が可能です。

※1. 用紙やマーカーによってはにじむ場合があります。マーカーは印刷後5分程度経ってからの使用を推奨しています。
 ※2. 普通紙への文書印刷速度はISO/IEC 24734のオフィスカテゴリテストによる片面印刷ESAT（Estimated Saturated Throughput）の平均値。
 ※3. ファーストプリントはISO/IEC 17629のFPOT（First Print Out Time）from readyの平均値。
 ※4. 税込み。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」＜一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定＞に従い記載。測定環境の詳細は、キヤノンホームページ参照。
 ※5. エコノミーモード時。標準モード時はブラックとカラーともに約3,000ページ。印字可能枚数は、A4カラー文書ISO/IEC 24712を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。

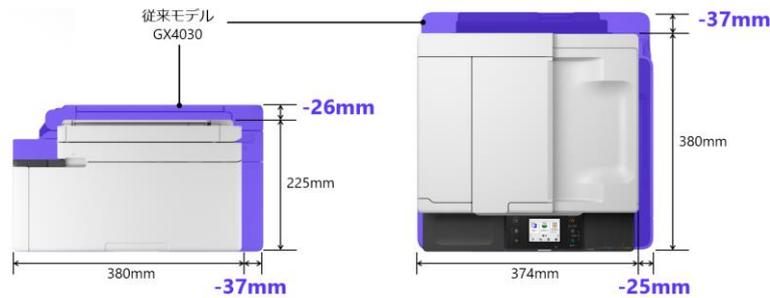
製品名	希望小売価格	発売日
GX2030	オープン価格	2023 年 11 月上旬
GX1030		2023 年 10 月下旬

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様センター 0570-08-0067
 - ビジネスインクジェットプリンターホームページ : canon.jp/bij

〈主な特長〉

1) 新デザインとフルフロントオペレーションで操作性が向上

- 自宅の居住空間と調和する新たなデザインを採用。
- スキャンユニットを小型化したことで、限られたスペースでも設置場所を選ばないコンパクトサイズを実現。
- 使い勝手にこだわったフルフロントオペレーションを採用。操作部をプリンター前面のフラットパネル上に集約。インク充填・給紙・メンテナンスカートリッジの交換といったプリンターの基本操作をすべて前面側で実施可能。
- インク注入口に新機構のプッシュレバーを採用し、インクが手につきにくく、ストレスフリーなインク注入が可能。
- インクは1回の注入で入りきるボトルを採用。余ったインクの入ったボトルを手元で保管する手間を低減。



スキャンユニットを小型化しコンパクトサイズを実現

フルフロントオペレーション



2) 新開発の顔料インクと画像処理技術でにじみの少ない高画質を実現

- 新開発の顔料インクは、インクの浸透特性をコントロールし、にじみを低減。
- 新画像処理技術により、インク滴のサイズを小さくし、インク滴同士の重なりを抑制。
- 濃くくっきりした文字とにじみの少ないシャープな画質の両立を実現。
- 小さな文字や両面印刷でも鮮明で裏写りが少なく、印字部にマーカを引いてもにじみにくいため、ビジネス文書に好適。



新画像処理技術でインク滴同士の重なりを抑制

3) 高速プリントと低ランニングコストによりオフィスと同等の高い生産性を支援

- 連続プリント（片面）は A4 モノクロ文書毎分約 15.0 枚、A4 カラー文書毎分約 10.0 枚、ファーストプリントは A4 モノクロ文書約 9 秒、A4 カラー文書約 11 秒と、モノクロ・カラーともに高速プリントを実現。
- 「GIGA TANK」の搭載により、インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページあたり約 0.9 円（税込み）、A4 カラー文書 1 ページあたり約 3.0 円（税込み）。
- インク消費量を減らして印刷するエコミーモードの場合、ブラックインクボトル、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー）ともに 1 本分の容量で A4 約 4,500 ページの大量印刷が可能。

4) 自宅でもオフィスと同等のセキュリティー環境を提供

- プリンター本体（DEVICE）、ネットワーク（NETWORK+CLOUD）、印刷物（DOCUMENT）の全方位からセキュリティー対策を実施。また、高度なセキュリティーながら管理が容易なため、管理者の負荷を低減。
- DEVICE Security においては、起動時にプログラム改ざんの有無を検証し、安全性を確認して起動を実行。問題があった場合は起動を停止し、不正なプログラムによる被害を未然に防止。最新のファームウェアへの更新を実施すれば新たに発見された脅威への対応も可能。
- NETWORK+CLOUD Security においては、通信の強固な暗号化プロトコル「TLS1.3」の搭載に加え、無線 LAN のセキュリティープロトコル「WPA3」と、不正アクセスを防止するユーザー認証規格「IEEE802.1X」に対応。ネットワーク上のデータ保護とクラウドへのセキュアな接続を実現。
- DOCUMENT Security においては、オプションの「Hybrid Work Print Standard」を活用することで、プリンター本体のパネルで印刷指示をしてから印刷を開始できる「留め置き印刷」に対応し、印刷物の放置や持ち去りを防止。
- EASY Management においては、使用環境に最適な設定を提案する「おすすめセキュリティー設定」に対応。セキュリティーに関する専門知識がなくてもセキュアな使用環境を構築。

全方位防衛

DEVICE Security
プリンター本体を守る
未知の脅威に備え、プリンターのシステムやデータを複数の手段で多層的に防御します。

NETWORK+CLOUD Security
盗聴させない/なりすましから守る
最新の暗号技術を用い、ネットワーク上のデータを盗聴から守ります。
また、最新の証明書技術を用い、外部サービスへの安全な接続を提供します。

DOCUMENT Security
文書から情報漏洩させない
放置文書からの情報漏洩や、文書の改ざんを防ぐため、プリンターで印刷する文書を守ります。

容易な管理

EASY Management
安心と簡単な両立
高度なセキュリティーを実現しつつ
管理者の負荷を増やしません。

本体・ネットワーク・印刷物の全方位を防御するセキュリティー対策

5) 紙製緩衝材の採用などで環境に配慮した取り組み

- 緩衝材には発泡スチロールではなく再生可能資源であるパルプモールド[※]を採用。
- 本体の部材の一部に再生プラスチックを使用し環境負荷に配慮。

※ 古い新聞紙や雑誌などを水に溶かし、乾燥させて成形した緩衝材。



環境に配慮したパルプモールド製の緩衝材を使用

〈インクジェットプリンターの市場動向について〉

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2022年のカラー機出荷台数は国内では約345万台、全世界では約5,711万台でした^{※1}。2023年のカラー機出荷台数については国内では約337万台、全世界では約5,419万台と見込まれています^{※2}。在宅勤務が働き方の一つとして定着し、業務の生産性向上が求められる中、操作性・高画質・高生産性を備えたプリンターへのニーズが高まっています。

※1. 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2023Q2 Final Historical

※2. 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2023Q2 Forecast Release

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

〈Canon EXPO 2023 について〉

「Canon EXPO 2023」は、「Future Focused. Always. ～未来の可能性を、ひろげ続けよう～」をスローガンに、キヤノングループの目指す方向性を示す展示会です。時代の要請やビジネス環境の変化に適応し、事業ポートフォリオを大きく転換しつつある姿や、最新の製品やサービス、それを支える技術、社会へ貢献するソリューションを展示します。さらに、それらの技術を活用した新領域での取り組みも紹介します。生まれ変わったキヤノンの姿、そしてこれからも変化し続ける姿を是非ご覧ください。



【Canon EXPO 2023 展示会概要】

●日時：2023年10月19日（木）～10月20日（金） 10：00～18：00（最終入場17：00）

●場所：パシフィコ横浜ノース（神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1番2号）

※来場には、事前申し込み（無料）が必要です。詳細はホームページをご参照ください。<https://expo.canon/welcome/>